Ishi Datami

いしだたみ

長崎南高関西同窓会　会報

～２０１２年～

関西同窓会会長就任ご挨拶

４回生　三宅　博

転機は昨年（平成２３年）８月、当社の人事異動によって訪れた。

４年数ヶ月の単身赴任生活に区切りを付け、関西にある子会社への赴任が決定的になった。

この情報は裏ルートを経由して大石会長へもたらされた。

単身赴任中は横浜に在住したこともあって、関東同窓会と関西同窓会の両方に参加することで「趣味同窓会」を熟成していくことになった。

大石会長のソフトで熱烈な就任説得に、これまでお世話になったせめてもの恩返しと思い首を縦に振ってしまった。

これまで幹事さんの隠れた苦労を知らなかったばかりに、少しばかり早まったか？との想いもある。常識的には大石会長の７回生から後の世代の回生に送ることになるのだが、ここで４回生の私に逆転しても良いものか？　関西同窓会で長年やってきた人たちを抜いてうまく行くかな？　何より関西在住同窓生をあまり知らないのに大丈夫かな？等々少しだけ頭をよぎったものの、あまり深く考えるのが好きではない性格が“ＧＯサイン”。

と言うわけで、昨年１１月の総会で新しく就任することになりました。改めてよろしくお願いします。

いろいろな場面で、関西と関東が較べられることがあるが、同窓会においても西と東では趣が違う。何より頭を悩ますのが場所選びであろう。東京の最高峰は「六本木ヒルズ住友生命ビル４２Ｆ」スマートな都会派感覚が冴えている。一方関西は「白洲次郎ロケに使われた綿業会館」「東洋陶磁美術館鑑賞ツアー付きの中之島倶楽部」「ワイン三昧のワインウェアハウス堂島」など、こぢんまりとしているが雰囲気と和気あいあいが持ち味である。幹事面々が何か趣向を参加者に味わってもらいたいとの想いが伝わってきて嬉しい。これまで参加させてもらった毎回が私にとっては新鮮で驚きだった。

その一方で、若い卒業年次の参加がちょっぴり寂しい気がするのは年を取った証拠か。聞くところによると、どちらの同窓会も同じような悩みを持っているらしい。「何とか人集めを！」。代々の幹事が総会の度に呪文のように唱えていた。また、熟年回生の顔ぶれには毎年期待と不安でいっぱいである。去年まで顔を見せてくれていたのに今年は何故？　しばらく見なかったのに久しぶりに顔を合わすことができた！などなど。

８００人を超える会員を抱え、できるだけ多くの方たちに日常から少しだけ離れて再会の機会を持ち続けられることを今後とも使命としていきたいと願っている。

この原稿は彼岸の中日に悪戦苦闘しながら進めている。姪の結婚式もあってお彼岸に長崎を訪れることができ、しばらくぶりに墓参りもできた。生まれた土地、成長を育んでくれた町、帰る故郷があることに感謝である。何かの縁で長崎南高を母校に持つ我々は、これから先も永遠に繋がっているのだと思うと不思議である。目立たなくても良い、

騒がなくても良い、いつも身近にあって訪ねてくる人があればいつでも受け入れられるそんな同窓会を目指したいものである。

昨年１１月には母校２年生の修学旅行生徒が関西を訪れた際、代表卒業生を囲んでの懇談が催された。卒業後の生活、長崎を飛び出しての一人住まい、社会人・企業人としての在り方などに興味津々であった。少しでもお役にたてたことに仲間の一人として嬉しい思いができた。

同窓会の使命を兎角難しく考えがちだったりするが、そんなことはない。

会報誌「いしだたみ」、ホームページ「長崎南高校関西同窓会」、１年１度の「年次総会」で間接直接に再会の機会を自分流に使ってもらえば良い。「でんでらりゅうば、出て来るばってん！」皆で会えればもっと嬉しい。

最後に少しだけお願いです。

同窓会の運営は会員各位の会費と幹事のボランティで成り立っています。

会報誌をお送りする中で「会費の振込」をお願いしています。

是非ご賛同いただき「私たちの同窓会」作りへのご支援、ご案内のイベントに参加いただくようお願いします。

たまには“なんばしよっとやろか？”とホームページも開けてみてください。あなたのオアシスになるよう頑張っています。

では、いつかどこかでお会いしましょう。待ってます。

卒業生とのお付き合い

旧職員　浦口　謹右

私が新米英語教師として長崎南高校に赴任したのは、昭和４１年の春でした。学校創立６年目で、４・５・６回生が在学しておられました。最初の年は、２年生であった５回生のクラスに授業に行きました。翌４２年度から３年間、７回生とともに過ごしました。今でも一番印象に残っている学年です。その７回生も今年度で６０歳になり、多くの方が定年退職をされます。当時２０歳代前半だった私が、６８歳になったのも当然です。

お互いに若いころは付き合いがなかったのが、年をとるにつれて卒業生との付き合いと言うか、お世話になることが増えてきました。これを書いているのは、長崎県社会保険労務士会の総合労働相談所において相談の合間にです。その社労士会の事務局長さんは長崎南の１回生ですし、仕事上お世話になっている長崎労働基準監督署長さんは７回生です。週３回教壇に立っている専門学校の理事長兼校長先生も７回生です。また、親譲りで歯が悪い私が、毎月通っている歯医者さんは１７回生です。このように、現在、私がお付き合いさせていただいている方には、長崎南の卒業生が沢山おられます。大変有り難く思っています。

最後になりましたが、関西同窓会の皆さまがその絆を深められ、会が更に発展されることを祈念申し上げます。

長崎南高校関西同窓会

平成 23 年度会計報告

（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

収入の部			支出の部		
前期繰越		586,657			
	通帳残	551,682			
	手元現金	34,975			
年会費		188,000	総会費		288,509
（含総会時支払分）			通信費		125,870
郵便局利子		56	印刷費		133,818
総会会費		243,000	運営費		88,434
（年会費除く）			支出合計		636,631
寄付		87,431	次期繰越		468,513
お祝儀				通帳残	433,538
チャリティ売上				手元現金	34,975
バーベキュー残金					
合計		1105,144	合計		1105,144

上記のとおり報告します

平成 24 年 3 月 31 日

会計　岡　　涼子

惣附　　育美

監査の結果、いずれも適性かつ正確であることを認めます。

監査　中島　　猛

藤原　由美子

会計報告

決算書は平成２３年度のものです。総会時に納めていただいた年会費、振り込みによる年会費と繰越金で成り立っています。総会の収支以外で、経費の主な部分を占める印刷費と通信費は、現在把握している５００名弱（２３年度４８８名）の会員の方に会報を年２回郵送するための経費です。運営費はほとんどが同窓会本部・支部総会への参加費（祝儀、交通費のみ）です。

毎年１００名前後の方に会費納入に御協力いただいており（２３年度９４名）、事務局といたしましても、各種催しを通じて会員増を目指してまいりましたが、年々繰越金が減少している状況です。

同窓会の他支部の状況も参考にさせていただき、会報への寄付広告導入や年会費額の見直しなども検討しておりますが、まずは一層の経費節減と会費納入率の向上をはかることとしました。

経費削減としましては、会報の発行を年１回とし、総会を春の会報で早めに御案内し、総会１カ月程前に往復はがきをお送りして出欠をご連絡いただくことにいたしました。

あわせてインターネットの関西同窓会ＨＰの内容の充実をはかり、行事等の詳細を確認できるようにしております。http://www.kansai-ishidatami.net/

また、地域文化交流会や回生別の会を通じて会員の掘り起こしをはかり、同窓会活動に興味を持っていただける機会を増やしていく予定です。

どうか厳しい状況を御理解いただき、会費納入に御協力賜りますようお願い申し上げます。

※振り込み用紙を同封しております

郵便局　口座番号　：　００９４０－８－１２５１７５

加入者名　：　長崎南高関西同窓会

第２１回総会を開催しました

昨年１１月１９日(土)午後２時より、大阪市内の「ワインウェアハウス大阪堂島」に約５０名が集い、１年振りのホッとするナガサキ時間を楽しみました。

来賓として母校から後藤慶太教頭先生、恩師の浦口謹右先生(昭和４１～５６年、南高在職)、本校同窓会から平野啓子会長(４回生)と浦川英孝副会長(６回生)、関東同窓会の小岩寿樹会長(１０回生)、そして長崎県大阪事務所の野口純弘課長(西高ＯＢ)をお招きしました。次第に従い役員改選案も承認され、４回生の三宅博会長のもと新執行部が誕生しました。懇親会では、宅島和夫さん(３回生)演じる北摂の玉三郎の艶舞(！？)には全員がサプライズ、そして大笑いの渦。その後、クラウンレコードの長崎出身の新進歌手五島つばきさんがキャンペーンで飛び入り参加。余興のあとの恒例の福引き大会には沢山の景品を協力いただき、今まで以上の大変賑やかなアッと言う間の３時間でした。

新役員体制は次のとおり

会　　長	三宅　博	(４回生)
副 会 長	榎田政純	(９回生)
〃	手嶋義雄	(９回生)
〃	鳥井幹則	(13 回生)
事務局長	金尾義男	(14 回生)
会　　計	岡　涼子	(９回生)
〃	惣附育美	(14 回生)
会報編集	中村博信	(18 回生)
監　　査	中島　猛	(６回生)
〃	藤原由美子	(６回生)
相 談 役	松本藤一	(２回生)
〃	間渕　豊	(６回生)
〃	大石哲史	(７回生)

表紙と上の写真は総会の参加者で記念撮影したものです

会計と監査報告。ギリシャに次ぐ財政難！？
皆さん、会費納付のご協力を

本日の飛び入り。クラウンレコードから売り出し中
後ろに控えるはマネジャー？

サイン入り色紙とＣＤを手にして
思わずニンマリ。お宝秘蔵に

浦口先生、お久し振りです

へーイ！　マスター！　つぎ、赤ワイン２つ！！

本邦初公開！　見せる魅せる「北摂の玉三郎」

ＯＢによる講演会をやりました！！

昨年１２月に南高２年生(５０回生)の皆さんが修学旅行で来阪しました。

初日の６日は、京都市内を観光して一泊。今や修学旅行の目的の一つに「職業観を培う」ことがテーマのひとつとあり、翌日の午前には関西地区の３６の企業や省庁の出先機関を訪れ、また午後には複数の大学を訪問したそうです。

そしてその夜、宿泊先のホテルノボテル甲子園におきまして、関西在住のＯＢによる講演会の依頼があり、文系代表として６回生の間渕豊さんと、理系代表として１３回生の鳥井幹則さんが登壇されました。

生徒の皆さんから受講後の感想をいただきました。これからの受験を迎える「３年生０学期」といわれるこの時期に将来を見据えて進路志望を固める上で、関西同窓会として少しでも在校生の応援団になれたらと願っております。（７回生　大石哲史　記）

《生徒たちの感想》

○間渕さんは、仕事の中で大切なことは「お客様の声を聞くことだ」と話してくださいました。**「話し上手は聞き上手」という言葉が一番印象に残っています。**これらのことから、社会で大切なことはコミュニケーション能力だと思いました。

○間渕さんは、人生で色々な経験をされていて、すごい人だと思いました。**オリックスが優勝したときに、グラウンドで４万人の歓声を聞けて感動したとおっしゃっていたので、うらやましいと思いました。**印象に残っているのは、「話し上手は聞き上手」という言葉です。相手の気持ちをつかむことが、営業で大事なことだと聞けてよかったです。

○間渕さんのお話では、**「自分が活躍できるところに就職をしてください」という言葉が印象に残りました。**私には社会の教師になるという夢があります。社会の好きな私にとって、本当に自分が活躍できる場だと思います。

○鳥井さんは**「夢を描く」「目標を持つ」ということにポイントをおいて話をしてくださいました。**そして、働く上で英語が大事になってくるという話から、今、英語の基礎作りをしっかりしなくちゃいけないと感じました。

○鳥井さんの話から、**今の就職難の時代に、自分の専門職を、または好きな学問を持つことがとても大切だと感じました。**

○鳥井さんの話から、自分のやりたいことがしっかりと決まっていて、高校、大学の学習や仕事を、楽しんでやることは、とても素敵だと思いました。私には、やってみたいことはあるけれど、そのために「これを勉強しよう」とか、「あの大学へ行って学ぼう」ということは考えていません。きちんと企業に就職できれば、それでいいのかなと思うことがあります。ですが、鳥井さんの話を聞いて、**やっぱり将来は自分の興味のある仕事に就きたいと思いました。**

長崎南発地域文化交流会第２弾

“しっとっと神戸”（桜とバラの須磨寺）参加の記

２回生　石井　清人

榎田さんからの案内が来たので喜んで４月７日の“しっとっと神戸”に参加しました。今回訪れたのは須磨寺と須磨離宮公園です。

山陽電車の須磨寺駅から歩いて５分、須磨寺の門前へ１１時に集合しました。参加者は三宅会長はじめ１９名（男性１０名、女性８名、お子さん１名）です。明石からは私以外に女性２名が参加。晴れて良い天気でしたが少し気温が低くて、桜は５分咲きくらい、枝垂れ桜は咲き始めでした。須磨寺は８８６年建立の歴史の古い寺で、源平ゆかりの寺として有名です。須磨の巻の光源氏にちなんだ若木の桜や、源平合戦の平敦盛と熊谷直実の騎馬像、ゆかりの青葉の笛、義経腰掛けの松などがあり、芭蕉、蕪村、子規の句碑や歌碑なども数多くあります。ボランティアのガイドさんは物知りの観光客に鍛えられていて、虚実取り混ぜての説明が面白く、結構楽しめました。お寺に培われたサービス精神でしょうか、はりぼての岩、頭をなでると動く猿、首の回るカッパなどＢ級からくりが多くあり、子供がいても飽きないでしょう。

神戸市は（須磨寺も）今年のＮＨＫ大河ドラマ“清盛”による効果を期待していますが、今の所、宣伝ほどの目立った盛上りは無いようです。何故でしょうね。

集合写真を撮った後は、数百メートル歩いて須磨離宮公園に向かいました。かつては皇室の別荘でしたが、戦災で焼失したのを機に神戸市に下賜されて公園となりました。バラと噴水が有名な西洋式庭園の本園と植物園からなっています。まだチューリップは咲き始めで、ミツバツツジが迎えてくれました。昼食は高台のレストラン『花離宮』でとりました。海と噴水とテラス式庭園を見下ろす素晴らしい眺望で、酒が入っての歓談は大いに盛り上がりました。予約してくれた幹事さん達に感謝です。食事の後は、流れ解散しましたが、帰る人あり、植物園を散策する人あり、近くの須磨浦山上公園にロープウエーで昇る人ありで様々だったようです。

私達、縁あって関西に住んではおりますが、特に現役で働いている時は、案外関西のことを知らないものです。アットホームなこの企画はとても良いと思いました。

さて、私は昨年１１月から探鳥句会で俳句を始めましたので、未熟ながら１句。

長崎弁に花の微笑む須磨の寺

編集者から；皆さん、“思えば遠くに来たものだ～～”と歌にありますが、長崎から遠く離れて生活していますが、地元でも知らない名所・旧跡があります。長崎弁で徘徊し、美味しい食事に舌鼓を打つのも良いものです。紹介の連絡をお待ちしています。

「課外活動」紹介

「ポラリス」

６年前に４回生の三宅博さんを中心にハイキング のクラブでスタートしましたが、今はハイキングを中心に飲み会、ゴルフと幅広く活動している遊びの会です。基本月に１回 、長崎南高ＯＢを中心にその家族、友人の集まりで現在３０名余のメンバーで、そのうち１３名程がレギュラーです。

「探鳥句会」（たんちょうくかい）

定例の句会は、毎月第４土曜日の午後１～５時、上本町の「たかつガーデン」（大阪市天王寺区高津町７－１１　電話０６・６７６８・３９１１）で開催。３回生の松永典子さんを師匠に、ゲストとして大島雄作氏（季刊誌「青垣」代表）がおられます。出席者は南高のメンバー等約１０名。厳しくも和気あいあいとした楽しい句会です。時には外に出て、吟行句会も開催しています。「僕も私も、かっちぇて！！」とご希望の方は、南高関西同窓会ホームページか、お知り合いの幹事の方にご連絡ください。なお、会場費、雑費として月に１０００円をいただいております。

ながさき人のお店@KANSAI

Vol. 7　昔ながらの立ち飲み処「ままや」（大阪府吹田市）

ＪＲ吹田駅中央口をでて約１２０メートル､『吹田さんくす２番館』のＢ１Ｆにあり、三方が出入口で「ままや」の屋号が入ったのれんが掛かっているカウンターだけの立ち飲み屋で、４０名ほど入れます。

メニューはビール大ビン（アサヒドライ）３６０円、焼酎、お酒、おでん、焼き鳥、天ぷら、刺身、串、焼き魚、一品料理等沢山の家庭的な味のつまみが揃っていてお値段も非常にリーズナブルです。

定休日は土曜日。お昼１２時から２２時まで（２月の営業時間）やっていて、お客の年代に合わせ、いつもなつかしい歌謡曲、フォークなどがながれています。

１２時の開店から常連さんが、１８時からは仕事帰りのサラリーマンの方が来てるみたいです。

ご主人は長崎南高１１回生の渡辺さん。スタッフは渡辺さんご夫婦とアルバイトの大学生で、てきぱきと気持ちよく応対していました。

お酒の好きなあなた、吹田の近くに来たら是非一度寄って下さい。

【住所】大阪府吹田市朝日町２－１２３　吹田さんくす２番館　Ｂ１Ｆ
【電話】０６・６３８２・７３７６

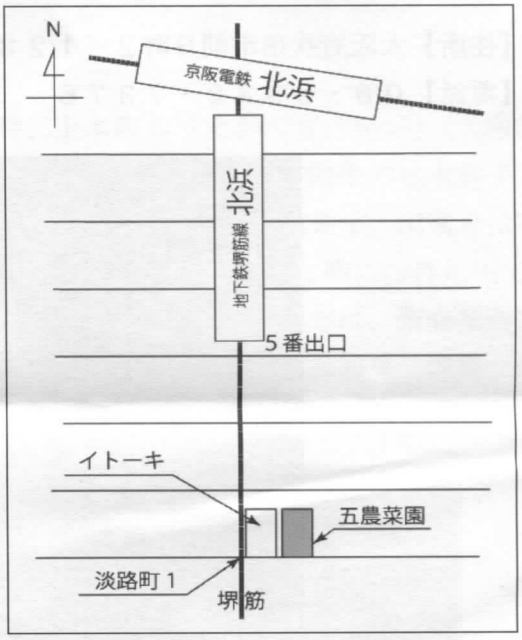
行事予定

7月11日(水)　夏のゴルフコンペ
場所は未定ですが、近々、ホームページにアップします。

7月21日(土) BBQ(バーベキュー)大会
場所は、万博公園バーベキュー広場。
夫婦、親子、お子様連れ、その他、どなたでも大歓迎。
詳細は決まり次第、ホームページにアップしますので見てください。

11月10日(土) 第22回総会
場所は、"五農菜園"(京阪電鉄北浜駅 or 地下鉄堺筋線北浜駅)
五島から直送の野菜が大好評。同じく五島で水揚げされた魚も直送！

住所
大阪市中央区淡路町1-6-9
ORE堺筋本町ビル1F
TEL 06-6209-0358
淡路町1交差点(イトーキ目印)
を東に曲がって2軒目



いずれも、ご参加希望の方は、ホームページ内のアドレス宛にメールして下さい。
http://www.kansai-ishidatami.net/

長崎南高関西同窓会会報２０１２年
今年から年1回（春の予定）の発行とさせていただきます。